

問1 時間がたつと、太陽はどの方角からどの方角へと動いていきますか。

問2 太陽を直接見ると目をいためてしまうため、しゃ光板を使うのはどのようなときですか。

問3 温度計を使ってものの温度を正しくはかるとき、ものの温度が伝わるのは温度計のどの部分ですか。

問4 日光（にっこう）が当たっている場所は、日光が当たっていない日かげとくらべて、どのようなちがひがありますか。

問5 北に顔を向けて立ったとき、あなたの右がわにあたる方向はどれですか。

問6 日光が当たっているところのことで、地面が明るく、あたたかくて、かわいている場所を何とといいますか。

問7 理科の学習で、あたたかさを表す「温度」を書き表すときに使う、「℃」という記号はなんと読みますか。

問8 日光が当たっていない暗いところのことで、地面がつめたく、少ししめっている場所を何とといいますか。

問9 北に顔を向けたとき、右がわが東、左がわが西になるような、方向をあらわす言葉を何とといいますか。

問10 校庭に、棒（ぼう）や木、人間など、いろいろなものが立っています。太陽の光が当たったとき、これらのかげの向きはどうなりますか。

問11 えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかるために使う道具の名前は何か。

問12 温度計の目もりを正しく読むとき、目の高さはどこに合わせますか。

問13 日光をさえぎるものがあるとき、太陽と反対側にできる暗い部分のことを何とといいますか。

問14 太陽が南の空を通るとき、太陽の高さはどのようになりますか。

問15 かげができるのは、どのようなことがおこったときですか。

問16 地面にできたかげが、時間がたつと動くのはなぜですか。

## 答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 東から西	太陽は、時間がたつと東から南の空を <sup>ちやくせつ</sup> 通って西へと動いていきます。
問2	答え 太陽の動きや形を <sup>かんさつ</sup> 観察するとき	しゃ光板は、目をいためないように太陽を直 <sup>ちやくせつ</sup> 接見るときに使います。
問3	答え えきの先（えきだめ）	温度計は、えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかる仕組みになっています。
問4	答え あたたかい	日光には地面や空気をあたためる性質 <sup>せいしつ</sup> があるため、日光が当たっている場所は日かげよりもあたたかくなります。
問5	答え 東	北に顔を向けると、右がわは東になります。ちなみに、左がわは西になります。
問6	答え 日なた	日光が当たっている場所のことを「日なた」といい、地面は明るく、あたたかくて、かわいた <sup>じょうたい</sup> 状態になります。
問7	答え ど	温度を表す「℃」という記号は、「度（ど）」と読みます。
問8	答え 日かげ	日光が当たっていない暗い場所のことを「日かげ」といいます。
問9	答え ほうい	北、南、東、西などの方向をあらわす言葉をほういといっています。北を向いたとき、右が東、左が西になります。
問10	答え すべて同じ向きにできる。	もののかげは、どんなものであっても、すべて同じ向きにできます。
問11	答え 温度計	えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかる道具を温度計といっています。
問12	答え えきの先	温度計の目もりを読むときは、えきの先と目の高さを合わせるのが正しい方法 <sup>ほうほう</sup> です。
問13	答え かげ	日光がさえぎられたときに、太陽と反対側 <sup>ほんたいがわ</sup> にできるものを「かげ」といいます。
問14	答え 高いところを通る	太陽は、東から南の空の高いところ <sup>ちかくせつ</sup> を <sup>ちやくせつ</sup> 通って、西へと動きます。
問15	答え 日光をさえぎるものがあるとき	かげは、日光をさえぎるものがあるときに、太陽と反対側 <sup>ほんたいがわ</sup> にできます。
問16	答え 太陽が動くから	太陽が動くと、それにとまってかげも動くため、時間がたつとかげの位置 <sup>いちが</sup> が変わります。